

# 令和8年度 第1回学校運営協議会 議事録

日 時 令和8年5月1日（金）午前10時～午前11時30分  
会 場 飯高特別支援学校 会議室  
参加者 八日市場学園次長 八日市場第二中学校長  
 匝瑳市教育委員会学校教育課長  
 吉田小学校長 飯高地区区長会長 地区社会福祉協議会会長  
 香取就業センター主任就業支援担当  
 飯高デイサービスセンター管理者  
 本校PTA会長 本校校長  
事務局 教頭 事務長 主幹教諭 教務主任 各部主事 進路指導主事  
 就労支援コーディネーター 特別支援教育コーディネーター

## 1 開会

### 2 校長挨拶

本日は御多用の中、また荒天の中、令和8年度第1回学校運営協議会に御出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より本校の教育活動に対し、温かい御理解と御支援を賜っておりますことに、心より御礼申し上げます。

さて、私自身、本校に着任して二年目を迎えました。昨年度は、子供たち一人一人の学びや成長の姿、そして教職員の丁寧な関わりの積み重ねが本校の強みであることを実感した一年でございました。一方で、子供たちの多様なニーズに、よりの確にこたえていくためには、授業づくりのさらなる工夫や組織としての連携の一層の充実が必要であることも感じております。

こうした実感を踏まえ、本年度は、「主体的・対話的で深い学び」の視点を大切にしながら、子供たちが自ら学びに向かい、他者と関わる中で力を発揮していく授業づくりを一層進めてまいります。また、一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図るとともに、引き続き地域とのつながりを生かした教育活動も推進してまいります。

学校運営協議会は、学校と地域、保護者をつなぐ大変重要な場であると考えております。本日は、本校の教育活動や学校経営について御説明申し上げるとともに、委員の皆様から率直な御意見を頂戴し、今後の学校運営に生かしてまいりたいと存じます。

結びに、本年度も本校教育のさらなる充実に向け、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしく願いいたします。

### 3 委員の紹介

### 4 役員等の選出 会長、副会長、地域コーディネーターの選出

### 5 協議

## 【全体会】

### (1) 令和7年度 学校教育目標・学校経営方針について

校長 「令和8年度学校教育目標・経営方針及び経営の重点目標」について、「グランドデザイン」をもとに御説明いたします。まず、一番上にあるのが令和8年度の学校教育目標です。「ウェルビーイングの実現を目指し、地域に学び、自分の良さを伸ばし、心豊かにたくましく生きる児童生徒の育成」

この目標の実現に向けて、教育活動を進めていきます。今年度から令和7年度までの学校教育目標に「ウェルビーイングの実現を目指し」という言葉を付け加えました。このことについては、学校教育目標の方向性自体を変えたわけではありません。本校がこれまで大切にしてきた

- ・地域に学ぶこと
- ・自分の良さを伸ばすこと
- ・心豊かにたくましく生きること

この考え方は、これまでと変わりません。

このことを踏まえて、文部科学省でも、もちろん千葉県でも、これからの教育の目的を「ウェルビーイングの実現」としていることから、本校の教育目標も、その方向と重なるものとして整理しました。「ウェルビーイング」という言葉には、本校の子供たちが、学校生活の中で自分らしさを大切にしながら、人とつながり、よりよく生きていってほしいという願いを込めています。

そして、その下に、校訓を位置づけています。これは、本校の子供たちの姿をイメージして設けました。

「笑顔・感謝・挑戦」

子供たちが、笑顔で学校生活を送り、周りの人への感謝の気持ちを持ち、あきらめずに様々なことに挑戦していく。その姿を学校全体・全職員で大切にしていきたいと考えています。

中央には、本校が目指す学校像を示しています。

「児童生徒一人一人が毎日登校することを楽しみにできる学校」

これは飯高特別支援学校として私たちが最も大切にしたい学校の姿だと思っています。

その実現のために、右側には

- ・めざす児童生徒像
- ・めざす教職員像 を整理しました。

児童生徒については、挨拶ができること、思いやりをもつこと、健康に生活すること、自分で考え学ぶこと、そして自分の良さを社会の中で活かしていくことを大切にしています。

また、教職員については、人権を尊重する姿勢、特別支援教育の専門性、組織の一員としての協働、そして保護者や地域との連携を重視しています。下段には、これらを実現するための5つの重点目標を示しています。

- (1) 地域とともにある学校づくり
- (2) 安全・安心な教育環境の整備
- (3) 学習指導・生徒指導の充実
- (4) 教職員の資質・専門性の向上
- (5) ウェルビーイングを支える組織作り

これらは、すでに教職員が日々取り組んでいる教育活動を学校として整理したのもでもあります。下位項目については後ほど御覧いただきたいと思いますが、一つ御説明させていただきます。「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、令和8年4月1日から施行されました。それに伴い、「学校運営協議会の設置及び運営に関する規則」(平成24年1月31日教育委員会規則第一号)第8条(1)「学校の経営計画に関する事項」の内容に、必ず「業務量管理・健康確保措置の実施」を含めて、学校運営協議会の承認を得ること

とする。とあります。本校では、重点目標・具体的な経営方針の(5)②と⑤を挙げ、教職員の業務量管理・健康確保措置の実施に取り組んでまいります。

今年度も、本校の子供たち一人一人が、安心して学び、自分の良さを伸ばしていける学校となるよう、教職員が一丸となって教育活動を進めてまいりますので、令和8年度学校教育目標等につきまして、御承認いただきますようお願いいたします。

会長 校長先生ありがとうございました。それでは、ただ今御説明がありました学校教育目標、学校経営方針について皆さん御承認ということによろしいですか。(拍手)ありがとうございます。

## (2) 令和8年度 学校運営協議会活動方針・部会組織について

校長 本校では、昨年度同様、学校と地域、保護者がそれぞれの立場から学校運営に参画し、よりより教育活動を実現するために、協議会の機能を3つの部会に分けて運営しております。

一つ目は、「学校運営部会」です。この部会は、学校経営の方向性を確認し、教育活動全体について御意見をいただく中核的な役割を担います。主に、学校経営方針や教育目標、情報発信活動、教育活動の進捗、学校評価などについて御協議いただき、学校運営の改善につなげていくことを目的としております。

二つ目は、「学校支援部会」です。この部会は、学校の教育活動を具体的に支えていただく部会です。授業や行事への支援、教育環境の整備、地域人材の活用などを通して、子供たちの学びをより豊かなものにしていく役割を担っております。無理のない形で、継続的な支援体制を整えていくことを大切にしております。

三つ目は、「地域連携部会」です。この部会では、学校と地域とのつながりを広げ、深めていくことを目的としています。地域資源の活用や情報発信、地域行事との連携などを通して、「地域とともにある学校づくり」を進めてまいります。特に本校においては、子供たちの社会参加を見据えた連携も重要な視点となります。

これら3部会は、それぞれの所掌する内容を分けておりますが、いずれも基礎的環境整備の充実をベースに、「子供たち一人一人の学びと成長を支える」という共通の目的のもとで連携しながら活動してまいります。

委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のない御意見をいただき、本校の教育活動の充実にお力添えを賜れば幸いです。以上で、部会組織と活動方針についての説明とさせていただきます。一年間、どうぞよろしく願いいたします。

会長 ただ今のことについて御承認いただけますでしょうか。(拍手)

## (3) 令和7年度 学校運営協議会年間計画について

教頭 本日このあと校内参観、部会を行います。次回7月10日は午後3時からを予定しております。第3回は11月13日、午前中を予定しております。学校評価について御意見をいただく予定です。匝瑳市の防災訓練にも参加させていただく予定です。本校での地域防災活動も12月2日に予定しています。地域の方にも参加を呼び掛けて、一緒に活動できればと考えております。第4回は、2月19日に予定しております。

会長 ありがとうございます。ただ今のことについて御承認いただけますでしょうか。(拍手)以上で協議事項については終了とさせていただきます。

## 6 昨年度の地域学校協働活動の報告

学部ごとの地域学校協働活動について、写真を見ながら説明

小学部 地域散策の様子、

中学部 総合（地域の働く人にインタビュー）、飯高デイサービスセンターとの交流会

高等部 地域活動（清掃グループ、飯高デイサービスグループ、広報グループ）

## 7 校内参観

## 8 部会

### 9 全体会（各部会から報告）

《学校運営部会・学校支援部会》

○校内参観の感想

- ・先生、生徒たちの温かさを感じた。小規模な学校なので、狭さはあるが、それが生徒と教師の一体感というか、あたたかさを感じた。
- ・バリアフリーの環境という点では、生徒にとって危ないところもあるのでは。県に働きかけていきたい。
- ・生徒たちがイベントを楽しみにしていた。生き生きと活動している様子が見られた。

○地域学校協働活動について

- ・コミュニティスクールが発展して、さらに機能していくといい。先生たちには無理のないように、一つずつやっていってほしい。
- ・子どもたちに何をやってみたいか聞いてみるのもいいのではといった意見も出された。

《地域連携部会》

○校内参観の感想

- ・先生方、子どもたちが明るい、よい表情で授業に参加していた。体育祭が楽しみだ。
- ・生徒の挨拶がよい。先生方の御指導がよいのだと感じた。
- ・中学校の特別支援学級は一クラス8名である。担任不在時は空きの職員が対応するので、専門外の先生になる。一人一人に寄り添うことが難しい状況であるので、支援学校は支援が行き届いていると感じる。

○地域学校協働活動について

- ・地域との交流は大事なことだが、新しいことを始めるには、何かをやめていくことも必要になってくる。何年かに一度は見直しをすることが必要だろう。学校間交流など、無理のないように継続していけると良い。
- ・今年度は、地域の小学校との交流会の代わりに、地域のグランドゴルフの方との交流会ができるとうい。

## 10 諸連絡

第2回学校運営協議会 7月10日午後3時からの予定

## 11 閉会